

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が、市の行政全般にわた
り、執行状況や将来の方針などを
質問したり、政策提言を行うもの
で、定例会で行われます。

質問時間は、答弁時間を含め、
議員1名につき90分の時間内であ
れば何回でも質問
することができます。



「道の駅」について

石嶋 照幸 議員

議員 点から線へ、道の駅開業後に果たすべき役割やその後の展開について、伺います。

市長 道の駅整備の目的は、まちの活性化、知名度アップです。そして、県南地域のゲートウェイとなり、点在する魅力をつないでいく取り組みでもあります。県が分けている5ブロックの中で、唯一道の駅のない地域なので、点と点を結んで線にしていく一つの契機になっていきます。そして、牛久沼の魅力を生かしていくチャンスだと認識しています。発信するための取り組みを、進めていかなければならないと強く思います。近隣の市も含めて、牛久沼の道の駅が最初の拠点となり、牛久沼の魅力を発信していく波紋を広げる中心になっていかなければならないのです。この事業を進めることは、龍ヶ崎市にとどまらず、地域、そして茨城県のにぎわいづくりにつながっていくと考えています。

議員 開業時期の延期はマイナスイメージになっています。しかし、今まで全くの手つかずであった牛久沼を活用し、新たな観光資源として取り入れることは市民の皆様からも提言されており、道の駅の必要性もうたわれています。道の駅を整備することで、今までは通過するだけであった龍ヶ崎市が、これからは観光の目的の一つとして認知されます。立地特性を活かせば、世界へこの龍ヶ崎市を発信していくことも可能です。事業予算17億1千万円の中で知恵を振り絞り、素晴らしい道の駅を完成させ、100年先までつながる観光地になることを期待します。

登下校の安全対策について

久米原 孝子 議員

議員 毎年、危険箇所を吸い上げ改善しています。が、通学路によっては危険箇所と感じていても解決策が難しい幅員の狭い通学路があります。何かがおきてからでは困ります。可能性がゼロでないのであれば対策すべきです。歩道のない生活道路や通学路の狭い場所にペイントをするグリーンベルトがあります。こちらも含め、幅員の狭い通学路に対する安全対策について伺います。



▲通学用ヘルメットの配布を

教育部長 ヘルメットを着用することで、交通事故等による被害が軽減される効果はあると認識していますが、導入にあたっての課題もありません。必要性や有用性について、他市町村の事例を研究していきます。

掲載以外の質問項目

◆逃げ遅れゼロの取り組みについて

◆ペーパーレス化について

◆ドローンの活用について

女性の受診率アップと

がん対策について

大野 みどり 議員

議員 これまでの受診率アップの取り組みを教えたい。がん教育を実施し、城ノ内中学校では、体験

健康づくり推進部長 自分が受診できるがん検診が一目でわかるように通知を工夫し、さらに、受診者の預かり保育、二丁目に合わせた時間帯など、検診環境の充実を図ってきました。

議員 小・中学校のがん教育の実施状況と課題を伺います。

中学校の制服選択制について

議員 生徒がスカートやスラックスなど、自分らしく自由に制服を選択できる制度の導入を希望しますが、市としての見解を伺います。

教育部長 冬の防寒対策や機能面、また、男女の性差にとらわれない多様な性を尊重し合う観点から、今後検討していきたい



▲制服選択制の導入を

掲載以外の質問項目
◆日本語指導の必要な子どもたちの教育について

佐貫地区の歩道の

補修・整備を求める

金剛寺 博 議員

議員 佐貫地区の錆びついたガードレールは補修すべきです。

都市整備部長 地元自治会の要望も考慮し、施工方法を検討し、塗装や交換等に努めます。

議員 歩道に穴があいている場所や舗装の剥がれ等、相当箇所あります。早急に補修すべきです。

都市整備部長 現地を確認し、適時補修します。

「龍ヶ崎市いのち支える自殺対策計画」の新たな取組について

議員 改正自殺対策基本法に基づき、今年3月に作成した計画での新たな取組を伺います。

福祉部長 9月の自殺予防週間にはメンタルヘルス相談会を実施、新成人・出産直後の方に自殺予防啓発グッズの配布、各窓口対応でも自殺のサインを見逃さないことを意識

福祉部長 民生委員児童委員等、各種事業の協力の養成講座や職員向けの研修会等を実施し、人材の確保、養成、職員の高質の向上に努めます。

龍ヶ崎市公共施設等

総合管理計画について

加藤 勉 議員

議員 当該計画で位置付けられた新保健福祉施設の建設場所について伺います。

市長公室長 新保健福祉施設は、主要施策アクションプランで基本設計

龍ヶ崎市人材育成基本計画について

議員 人材育成の観点からも、グループ制を廃止し係制に戻すべきと考えますが、いかがですか。

総務部長 グループ制は課長の権限や裁量で柔軟に変更することが出来るメリットがある一方で、そのスケールメリットを十分に生かせていないとの声もあります。今後は、社会環境の変化に応じた行政課題等に対応できる組織とするため、グループ制の見直しも含め、その時点でのふさわしい形態を考えます。

議員 官民を問わず、人的に判断します。

山宮 留美子 議員

市内全ての公園の今後について

議員 北竜台公園は、利用者も年々高齢化し、以前はおしゃれだった石畳も今では滑りやすく、大変危険で歩きづらく、椅子を利用されている方や、お子様連れの方々もベビーカーではお散歩が出来ない。また、芝生広場があっても子ども達が遊べる遊具が一つもない等、北竜台公園を龍ヶ岡公園のようになごわいを創出するための工夫について、今後どのように考えているのか伺います。
都市整備部長 北竜台公園の石畳の改修や撤去については、景観等も考慮しながら今後検討していきます。また、公園のカフェ等の設置についても茨城県とも協議し、検討していきたい。



▲北竜台公園にもにぎわいを

サプラの期日前投票所について

議員 サプラの期日前投票所の効果についてお聞きしたい。

総務部長 サプラ期日前投票所を設置したことにより、3箇所の期日前投票所で投票する人のバランスが程よく分散され、混雑や混乱もなく、投票事務の円滑化が図られ、利便性の向上もあり、

一定の効果があったと思う。市民の声として「買い物ついでに投票できて大変便利」という声や、市長へ、感謝の手紙も届いた。

掲載以外の質問項目

◆幼児教育・保育の無償化について

◆ドッグランについて

油原 信義 議員

農業の担い手育成と支援策について

議員 担い手不足をどのように解消していくのか、一つには新規就農者をサポートするための包括的な体制の構築がポイント、農家が食べていく農業にするためには農業の持続性、特に米・龍ヶ崎トマトなど、龍ヶ崎を代表するブランドの持続性が重要と考えます。稲作は大規模農家が育っておりませんが、畑作は後継者が育っていない、龍ヶ崎市のブランド農産物として育ててきた龍ヶ崎トマトは先細りとなり、茨城県銘柄産地指定から外れてしまうのではと危惧しております。継続していくには新規就農者の確保とトマト園芸技術の継承です、そのための技術指導費用や研修助成支援など育成支援事業の創設による後継者・担い手育成が必要ではないか。

施設園芸の拡大を図ることが露地栽培の振興にも良い影響を与えていくのではと思います、新規就農者が施設を継承するにしても、新規に施設を設置するにしても、初期投資が大きいのが課題、施設園芸の市独自支援策が必要と考えるが如何か。
産業経済部長 今年度から新規就農者に対する市独自の支援策として、新規就農者経営支援事業を実施するところです。施設園芸の支援については、昨年度からスタートした畑作農業ステップアップ支援事業の検証を行うとともに、国や県の支援制度との関連を整理し、後継者・担い手の育成と合わせて一体的に検討してまいります。

掲載以外の質問項目

◆市営斎場について

◆新しい学校づくりの取り組みについて

札野 章俊 議員

東京オリンピック

野口啓代さんの応援について

議員 龍ヶ崎市出身の野口啓代さんが東京オリンピックのスポーツクライミングの日本代表に内定されました。市を挙げて大々的に応援するべきと考えますが、いかがか。
市長 市が中心となって市全体を応援団とし、最適な応援体制を検討したいと思えます。

ヘルプマーク・ヘルプカードについて

議員 ヘルプマークの配布が早急に必要なと思いますが、見解を伺います。
福祉部長 社会福祉課窓口で希望者に配布していますが、今後は配布場所を保健センターや社会福祉協議会などへも広げ、さらに、各障がい者団体を通じて、ヘルプマークやヘルプカードを必要とされている方々に行き渡すよう配布方法を工夫します。

(仮)まいん「元気」サポートセンター

議員 (仮)まいん「元気」サポートセンターの工事の進捗状況と、今後のスケジュールについて、伺います。
健康づくり推進部長 9月から改修工事が始まり、今年末に完成、年度内に本格オープンというスケジュールです。

「水辺のスポーツ拠点」となる

道の駅に！

石引礼穂 議員

議員 市民の「道の駅に
対する反応」が変化して
います。道の駅開業・牛
久沼「感幸地」構想に期
待し、夢がふくらんでい
た市民も、今は「すぐに
飽きられてしまう物にそ
んなにお金をかける意味
があるのか？」などの声
が大きくなっています。
大切なことは、どのよう
な道の駅であれば「魅力
的なものになるのか？」
ということだと思います。
私は、牛久沼「感幸地」構想に
ある「牛久沼トレイル」
と「道の駅」を同時にオー
ブンさせることで、どこ
にでもある農産物、物産
品の物を消費する道の駅
ではなく、「水辺のスポー
ツ拠点となる道の駅」に
することが、当市の道の
駅の生き残る道ではない
かと考えます。牛久沼ト
レイルが完成すれば、ウ
オーキング、マラソン、
サイクリングの他、トラ

イアスロンの練習場、牛
久沼で花火大会が行われ
れば、トレイル自体を棧
敷席として活用すること
もできます。現在計画さ
れている道の駅基本計
画、指定管理者も選定済
みですが、軟弱地盤の影
響で工事がストップして
いるので、「チャンス」
と捉え、全面的に計画を
見直すべきと考えます。

市長 今が、牛久沼が動
き出せる千載一遇のチャ
ンスと捉えています。そ
の中で牛久沼トレイル
は、魅力的な武器の一つ
になると思います。最適
な形で魅力的なものをつ
くるのか、さらに努力し、
知恵を出していきたいと
思います。

議員 結果的に中途半端
なものをつくるのでなく
現在も価値があり、その
先も変化し続けながら、
皆さんに喜んでもらうも
のをつくるべきです。

龍ヶ崎市ブランド構築と

まちおこしについて

大竹 昇 議員

議員 龍ヶ崎市が考える
地域ブランドとは何か。
市長公室長 地域資源を
生かして、商品開発など
を行い付加価値を高め、
他地域との差別化を図る
ことです。

議員 当市のブランドフ
アーストマトの市場で
の評価、売上額は如何に。
産業経済部長 平成26年
度にふるさと龍ヶ崎ブラ
ンド農産物の第1号に認
定され、継続して販売額
1億円を超え、昨年度は
1億1千万円でした。

議員 地域のことは地域
で考える時代を迎えて、
早20年、バブル経済の反
動で、スローライフや田
舎暮らしなど、ローカル
を志向する人々が増えて
いる環境下、新たな地域
づくりの政策が必要で
す。近年、新たな産業分
類である四次産業をどの
ように考えていますか。
産業経済部長 一次産業

から三次産業の定義に入
らない新しい産業で、情
報通信や医療、教育、観
光など、知的な集約産業
と認識しております。

議員 地方創生戦略とし
て、特産品ブランドとし
て、特産品ブランドとは
買いたい価値、観光地ブ
ランドとは行きたい価
値、暮らしブランドとは
住みたい価値の三つの融
合と、赤レンガや歴史を
感じさせる街並み景観が
不可欠です。地域ブラン
ドを活用した景観形成に
よるまちおこしへの挑戦
について伺います。

市長 地域活性化につな
げるには、牛久沼等の自
然景観、歴史ある街並み
や赤レンガ等も本市固有
の地域ブランドと言える
資源にし、まちなか景観
形成に役立てる視点が重
要です。地方創生の取り
組みとして、まちなか再
生プランの策定を進めま
す。

龍ヶ崎花火大会について

「にぎわう仕組み、仕掛けの戦略」

後藤光秀 議員

議員 以前、提案した大型
花火大会について、改めて
当市の考え方を伺います。
市長 何か大きな記念事
業で実現できれば、といっ
た答弁も以前しました。夏
の風物詩の花火大会が経
年でできないか、検討と知
恵を集め夢の持てること
を希望します。

議員 以前、機運の醸成が
必要という言葉がありま
した。例えば道の駅整備は
当初の予定から大きく予
定がずれ込んでいる。何か
の完成記念での開催であ
れば、駅名改称か、オリ
ピックか、道の駅なのか。
市長 今年は国体、来年は
駅名改称、オリンピック、
そしてマラソン大会。課題
もありませんが花火大会も
実現できればと思います。
そして、その花火を見る絶
好の場所になるであろう
道の駅オープン記念は候
補の時期として考えます。
花火を楽しみながら魅力

も増していければ、皆さん
に楽しんでいただける場
所になっていくのではな
いかと。

産業経済部長 沢山の
人が集まり、まちおこしや
光誘致、景気回復、地域活
性化に少なからず寄与す
ると考えます。万全な警
備、費用の捻出など多く
の課題はありますが、色々
な手続きを進めて整理し
て参りたい。

議員 クラウドファンディ
ングでの資金調達も視野
に入れてはどうか。労力
以上の波及効果と、何より
子ども達、おじいちゃんお
ばあちゃん、多くの感動を
実現させたいと思いませ
んか。道の駅オープン記念
であれば、道の駅に多くの
人がにぎわう仕組みも作
ることができると。そういっ
た仕掛けも戦略の一つだ
と考えます。実行委員会の
検討を進めて頂きたい。

伊藤悦子議員

建設費増額が必至な

「道の駅」の建設中止を求める

議員 護岸工事中止から賠償はどうですか。
7月です。今後の事業費と、新たに加わる龍ヶ崎大橋高架下の防衛工事の理由を伺います。今後追加工事はないですね。
議員 市民が納得できる賠償はどうかです。

市長公室長 受注者である設計業者の責任・損害の負担割合について協議を行っています。
議員 市民が納得できる賠償を行って下さい。護岸工事の変更、追加工事をベースに検討していますが、増額が見込まれ、抑えたい。龍ヶ崎大橋高架下の工事は、「道の駅」北側の国道出口に設置するもので、道路構造令により工事が必要となりました。その他追加工事は、コンクリートからの撤去工事等が考えられます。
議員 設計業者への損害とをご理解ください。

認可保育所の設置へ

議員 待機児童解消に認可保育所建設を求めました。市長の所信表明にあった認可保育所建設の内容を伺います。
福祉部長 現時点での建設予定地は流通経済大学北東部、予定面積6800㎡、建築面積901㎡、定員90名(0〜5歳児)、開園予定は令和2年9月から10月頃の予定です。

大野誠一郎議員

「道の駅」は

「勇気ある撤退」を求める。

議員 本市に計画されている「道の駅」と、2025年開業予定の取手市桑原地区の「商業施設」の相乗効果はない。相乗効果が有るといっても、68ヘクタールの商業施設に匹敵するほどの魅力ある「道の駅」をどのように建設するのか。
市長 取手市に何万人という集客施設があることによつて、1%でも2%でも足を延ばしてくれる人がいれば、それだけ道の駅に足を延ばしてくれる人が増えるわけです。

そして、牛久沼の道の駅の魅力の一つは、長時間滞留してのんびりした時間を楽しめることです。その中で、飲食や買い物をしてあげれば、チャンスをもた広げていくこともできると考えています。
議員 商業施設の利用客の1%、2%の人が道の駅に足を延ばしてくれるのではなく、道の駅の利用客の50%、60%の人が桑原地区の商業施設に持っていかれてしまう。68ヘクタールの桑原地区の商業施設は、1日あるいは何日でも楽しめる。道の駅の開業時期については、当初2019年の茨城国体開催、2020年の東京オリンピック開催に向けて、間に合わせるわけが間に合わず。大幅に遅れている。未だ、「魅力ある牛久沼」、「魅力ある道の駅」が出来ず。桑原地区の商業施設も出現する中で、市長決断で勇気ある撤退、勇気ある見直しを求めます。

議員 商業施設の利用客の1%、2%の人が道の駅に足を延ばしてくれるのではなく、道の駅の利用客の50%、60%の人が桑原地区の商業施設に持っていかれてしまう。68ヘクタールの桑原地区の商業施設は、1日あるいは何日でも楽しめる。道の駅の開業時期については、当初2019年の茨城国体開催、2020年の東京オリンピック開催に向けて、間に合わせるわけが間に合わず。大幅に遅れている。未だ、「魅力ある牛久沼」、「魅力ある道の駅」が出来ず。桑原地区の商業施設も出現する中で、市長決断で勇気ある撤退、勇気ある見直しを求めます。



▲道の駅は「勇気ある撤退」を

山村 尚議員

佐貫駅前のムクドリ対策について

議員 今年の夏、佐貫駅東口にムクドリが大量発生しました。これにより、駅前遊歩道、駅前車道、駅前電線下の店舗屋根にムクドリの糞がまき散らかされ、また、夕刻からのムクドリによる一斉鳴き声、夜半過ぎから朝方までの連続した鳴き声を駅周辺、駅からやや離れた住宅地の方から騒音被害として相談を受けました。現在の市の対策を教えてください。

都市整備部長 近隣住民や駅利用者からの苦情も受けており、ムクドリが集まる街路樹枝の剪定、街路樹への防鳥ネットの設置準備、鳥が電線にとまりにくくなる機具の装着依頼を電線管理者に行い、対策をしてまいりました。と考えています。
議員 ムクドリが集まっている街路樹の植樹柵破損も見受けられますが、街路樹に関して住民から相談は受けていますか。
都市整備部長 街路樹の生育による民有地排水管への根の侵入、落ち葉による排水管詰まり等の苦情が寄せられています。
議員 今後実施される佐貫駅東口開発事業の計画では、ムクドリが大量発生する原因にもなった街路樹についての計画はありますか。
都市整備部長 街路樹を全て撤去し、再植樹を行わない計画です。
議員 数年後に行われる開発事業で街路樹が伐採されるにしても、それまで数年の期間があります。糞被害、騒音被害、糞が原因で起こりうる病気の蔓延、街路樹生育が原因で起こる被害、植樹柵破損による関連事故等が起らないよう早急な対策を実施していただくことを要望します。

議員 今年の夏、佐貫駅東口にムクドリが大量発生しました。これにより、駅前遊歩道、駅前車道、駅前電線下の店舗屋根にムクドリの糞がまき散らかされ、また、夕刻からのムクドリによる一斉鳴き声、夜半過ぎから朝方までの連続した鳴き声を駅周辺、駅からやや離れた住宅地の方から騒音被害として相談を受けました。現在の市の対策を教えてください。
都市整備部長 近隣住民や駅利用者からの苦情も受けており、ムクドリが集まる街路樹枝の剪定、街路樹への防鳥ネットの設置準備、鳥が電線にとまりにくくなる機具の装着依頼を電線管理者に行い、対策をしてまいりました。と考えています。
議員 ムクドリが集まっている街路樹の植樹柵破損も見受けられますが、街路樹に関して住民から相談は受けていますか。
都市整備部長 街路樹の生育による民有地排水管への根の侵入、落ち葉による排水管詰まり等の苦情が寄せられています。
議員 今後実施される佐貫駅東口開発事業の計画では、ムクドリが大量発生する原因にもなった街路樹についての計画はありますか。
都市整備部長 街路樹を全て撤去し、再植樹を行わない計画です。
議員 数年後に行われる開発事業で街路樹が伐採されるにしても、それまで数年の期間があります。糞被害、騒音被害、糞が原因で起こりうる病気の蔓延、街路樹生育が原因で起こる被害、植樹柵破損による関連事故等が起らないよう早急な対策を実施していただくことを要望します。

岡部賢士 議員

東京オリンピック・パラリンピック

議員 当市で予定している取り組みは？

市長公室長 当市にゆかりのある選手や事前キャンプ国の応援、支援の検討を進めていく。

議員 これを機にスポーツクライミング、相撲部屋、流経大等、当市の恵まれたスポーツ環境をもっと自覚し、市を挙げたのサポートや応援等、取り組みを強化すべき。

大会後も交流関係のできた国との友好関係を深める等、未来に向けた積極的取り組みを！



▲スポーツクライミングの聖地を目指す切っ掛け！

小中学校の適正規模適正配置

議員 愛宕中と城南中の統合について、生徒や保護者の不安解消のための対応は？

教育部長 両校関係者で組織する統合準備委員会を通じ、意見を伺いながら、生徒が安心して学校

生活を送れるよう準備を進める。

議員 市全体の学校配置について、子どもの教育環境を第一に考え、地域の理解を得ながら、丁寧に進めるように。

後藤敦志 議員

いばらきパートナーシップ

制度に対応を

議員 性的少数者のカップルを公認する「いばらきパートナーシップ宣誓制度」について、市営住宅入居への対応をお聞かせください。

都市整備部長 市営住宅でのパートナー生活に際して、他の入居者に多様

申請書の押印省略を

議員 申請書類等の押印見直しについて伺います。

総務部長 平成9年に国が定めた押印見直しガイドラインにより、当市でも平成10、11年度に検討

を行い、法令等に定めがある書類を除き、数多くの申請書類等で押印を省略しました。

議員 前回の見直しから20年たっており、改めて見直しをする時期ではないでしょうか。押印や記載する必要がないものは見直し、削除することが

椎塚俊裕 議員

2020年、教育も大きく変わる

議員 来年度始まる龍の子人づくり学習では教育目的、子ども達の育成へ目指すものは何か。

教育部長 目指す子ども像を「『夢』を持ち『生きる力』を自らはぐくむ龍の子」とし、小・中学校と地域社会が目指す子ども像を共有し、義務教

教職員の働き方改革

議員 チーム学校づくりは教職員の働き方改革の一助と思いますが、ご見解を伺います。

教育長 児童・生徒を取り巻く課題が複雑化・多様化する中で、単に教員数を増やすだけではな

く、チーム学校では学校の組織力を一層充実させるために専門的な知見を持ち、児童・生徒に一層効果的な指導・助言が行える専門スタッフの効果的な配置など、人員体制



▲子どもたちの未来のために